

## 南京桃の再生プロジェクトが始動

～ウメ輪紋病の影響により途絶えていた生産の復活を目指して～

### ■南京桃再生プロジェクト

平成24年に発生したウメ輪紋病の影響により、伊丹市では梅や桃をはじめとする多くの植木がやむを得ず処分され、南京桃の生産も中止に追い込まれました。

令和3年の緊急防除の解除により出荷が可能となったことを受け、「再び南京桃を咲かせたい」という生産者の思いのもと、新たな種の探索から復活に向けた取り組みが始まりました。

本市では、生産者と連携しながら南京桃の再生に取り組んでおり、この挑戦の過程を記録した映像を制作しました。ぜひ、復活に向けた初年度の映像をご覧ください。



伊丹市特産花木『南京桃』



動画『南京桃再生プロジェクト第一章』

### ■南京桃（なんきんもも）について

南京桃は、中国原産の八重咲きの花桃を起源とし、約150年前に伊丹の地に持ち込まれて以来、地域の伝統技術によって育てられてきた特産花木です。1本の台木に3色の芽を接ぐ高度な接ぎ木技術により、1本の木から赤・白・ピンクの花を咲かせるのが特徴です。樹高は比較的コンパクトでありながら、育成には約3年を要します。



### ■伊丹市の苗木産地としての特性

東野、大野、西野地区では古くから花木の生産とともに苗木づくりの盛んな土地柄で、花木の接ぎ木技術は卓越したものがあります。

<問い合わせ先>伊丹市 農業政策課（担当：熊田）

TEL 072 - 784 - 8050 / FAX 072 - 784 - 8048

E-mail nogyoseisaku@city.itami.lg.jp